

### 3 決議

#### ○ 可決したもの

ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し、民主的な政治体制の早期回復を求める決議案（逢沢一郎君外5名提出、決議第3号）〔自民・立民・公明・共産・維新・国民〕（令和3.6.8可決）

我が国は、ミャンマーにとっての最大の支援国として、同国の民主化プロセスを後押ししてきた。本年2月1日に発生したミャンマー国軍によるクーデターは、民主化への努力と期待を踏みにじるものであり、クーデターを引き起こした国軍による現体制の正当性は全く認められない。クーデター以降、ミャンマーでは、国際社会の度重なる呼びかけにもかかわらず、国軍や警察による民間人に対する暴力が継続し、多数の民間人が死傷している。

本院は、こうした状況を強く非難し、自らの自由と人権、民主主義を取り戻すために声を上げ行動を続けているミャンマー国民と共にあることを表明するとともに、ミャンマー国軍指導部に対し、民間人に対する残虐行為の即時停止、アウン・サン・スー・チー国家最高顧問をはじめとする不当に拘束された国内外の人々の即時解放、人権及び人間の安全保障の尊重、民主的な政治体制の早期回復を強く求める。

政府においては、本院の意を体し、国際社会とも連携し、あらゆる外交資源を駆使して、これらの事項の速やかな実現に全力を尽くすことを強く要請する。

右決議する。

#### ○ 否決したもの

総務大臣武田良太君不信任決議案（安住淳君外4名提出、決議第1号）〔立民・共産・国民〕（令和3.4.1否決）

本院は、総務大臣武田良太君を信任せず。

右決議する。

菅内閣不信任決議案（安住淳君外4名提出、決議第4号）〔立民・共産・国民〕（令和3.6.15否決）

本院は、菅内閣を信任せず。

右決議する。

#### ○ 撤回されたもの

法務委員長義家弘介君解任決議案（安住淳君外3名提出、決議第2号）〔立民・共産〕（令和3.5.18撤回）

本院は、法務委員長義家弘介君を解任する。

右決議する。